科目ナンバリング	U-LAS27 20002 SJ48						
授業科目名 <英訳>	朝鮮語IIA（演習） K2201 Intermediate Korean A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 小倉 紀蔵		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	金4	配当学年	２回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

【授業の概要・目的】　朝鮮語コースの目的は、「朝鮮半島および日韓・日朝関係を文化的・社会的・歴史的な側面において理解し、東アジアにおいて生きていくための自分なりの世界観を身につけるための語学教育」（世界観養成語学教育）である。広義においては「異文化理解」となろうが、単に「異なる文化」を「理解」する、という意味ではなく、自明のものとされがちな「自文化」を相対化し、近接した他者との複雑な関係性のなかでそれを解釈したうえで、今後自らが朝鮮半島とどのような関係をアクチュアルに構築すべきかを考究するために必要な、最低限の語学力を養成することが目的である。
この授業では、朝鮮語の基礎的文法を習得した学生を対象に、より高度なコミュニケーション能力の訓練をすると同時に、語彙力を徹底的に鍛える。
【注意】 本学で「朝鮮語」というのは、朝鮮半島すなわち大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で使用されている言語のことである。この両国で使用されている言語には若干の相違が認められるが、大差はない。なお、特に大韓民国で使用されている言語を指すときには「韓国語」という呼称を用いる。

[到達目標]

①語彙・発音・表現を総合的に身体化する。②コミュニケーション能力を養う。

[授業計画と内容]

毎回一定程度の単語を覚える（単語のテストを毎回行う）。そのあとは、聴き取りテストを毎回行う。さらに「単語ゲーム」という形式で、文法・発音・語彙を総合的に身体化する訓練をする。単語ゲームは、２人１組になり、ある単語を１人が朝鮮語で説明し、もう１人がその単語を当てるというものである。これによって朝鮮語の運用能力が飛躍的に高まる。
第０１回　イントロダクション／教材と授業進行の説明
第０２回　プレ単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０３回　ステップ１単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０４回　ステップ２単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０５回　ステップ３単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０６回　ステップ４単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０７回　ステップ５単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０８回　ステップ６単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第０９回　ステップ７単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第１０回　ステップ８単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第１１回　ステップ９単語テスト＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第１２回　ステップ１０単語テスト１＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第１３回　ステップ１０単語テスト２＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
第１４回　ステップ１０単語テスト３＋聴き取りテスト＋単語ゲーム
≪定期試験≫
第１５回　フィードバック

朝鮮語IIA（演習）K2201(2)へ続く↓↓↓

朝鮮語IIA（演習） K2201(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

成績評価は、単語テスト・聴き取りテストの成績（５０％）＋定期試験（５０％）。出席点というものはない。詳細は授業中に指示する。

[教科書]

使用しない
プリントを配布する。

[授業外学修（予習・復習）等]

とにかく語彙力を強化することが必要なので、単語リストを徹底的に覚える。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]